

# 令和元年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
43	多治見高等学校

学校教育目標	高校生活のあらゆる場において、ひたむきに自己の可能性を追求できる、視野の広い、心豊かな青年を育成する。 スローガン 「一人一人の文武両立」 「さわやか挨拶 多治高生」 校訓 「進取 努力 創造」	
<教育指導の重点> 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 生徒一人一人に「存在感」・「自己効力感」をもたせる授業内容及び評価方法の研究と実践	①少人数授業や習熟度別授業の充実を図るとともに、評価方法のさらなる研究、学習到達度の設定などをテーマとして授業改善に努めます。 ②自宅学習時間3時間以上を目標として授業内容、課題を設定します。 ③上記の①②を達成させるために、教科会の充実を図り、授業力の向上を含めた教育力の向上に努めます。 ④「アクティブラーニング型授業」を活かした効果的な授業方法を研究します。	①授業評価や学習成績の追跡調査及び「生徒及び保護者等を対象とするアンケート調査」結果により、分析・評価します。 ②自宅学習記録用紙への記入や面談等によって、分析・評価します。 ③学習指導委員会や様々な会議によって、分析・評価します。 ④「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」や日々の授業評価を行うことによって分析・評価します。
2 開かれた進路指導の実現とキャリア教育の促進による進路目標の実現	①進路目標（国公立大学50、難関大学5合格）を設定し、達成するための目標を具体化するとともに、生徒一人一人の進路実現のための支援を行います。 ②卒業生、保護者、地域、大学等との連携と協同を推進し情報の提供や発信に努め、進路意識の高揚を図るため開かれた進路指導を推進します。 ③生徒一人一人の自己効力感・自己有用感の高揚を図り、主体的に進路を選択・実現できるための支援を行うなどキャリア教育を促進します。 ④新入試制度や新学習指導要領を見据えた入試動向を精査し、それに対応するための情報収集や指導方法の研究を推進します。 ⑤「課題探究型学習」をゼミ学習を通して実践するとともに、「ふるさと教育」に関する取組を取り入れます。	①模擬試験や入学試験の結果で評価します。「生徒の希望に沿った進路指導」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します。（AB評価 生徒70%以上、保護者80%以上） ②各行事に対する生徒アンケート、「進路情報の提供」、「講演や体験学習など授業以外の学習の機会」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します。（満足度80%以上、AB評価 生徒70%以上、保護者80%以上） ③「一人一人の能力に応じた指導」「サタスタや夏期補習」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します。（AB評価 前者70%以上、後者50%以上） ④「進路行事」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します。（AB評価 生徒・保護者70%以上） ⑤「探究ゼミ」に関する生徒アンケートで評価します。（AB評価 50%以上）

<p>3 身だしなみ・あいさつ・遅刻防止の指導を中心として、基本的な生活習慣の確立と倫理観・規範意識の育成</p>	<p>① 毎月「身だしなみ確認週間」を設定し、生徒自らが意識できる体制をつくります。</p> <p>② あいさつ励行や遅刻防止のための生徒の主体的な活動を支援し、生活習慣の確立、時間厳守の姿勢を養います。</p> <p>③ 地域と連携して、交通安全運動指導とあいさつ運動を実施します。</p> <p>④ HR活動や部活動も含め、あらゆる場で、倫理観・規範意識の育成を図ります。</p>	<p>① 学校評議員や育友会等で評価していただきます。また、「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。</p> <p>② 職員会議で毎月データを提示して評価し、指導の充実を図ります。</p> <p>③④ 「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。</p>
<p>4 文武両立を通じた生徒一人一人の自主性の育成と、地域において活躍・貢献できる人材の育成</p>	<p>① 生徒が達成感や満足感を感じられる行事になるように、活動しやすい環境を整えることで、高い志とチャレンジ精神で臨み、夢を実現できる力の育成に努めます。</p> <p>② HR活動・生徒会活動・部活動等、生徒の自治活動を支援することにより、生徒の自主性や自立心及び人間関係形成能力を育てます。</p> <p>③ 学習とともに部活動への積極的な参加を促すとともに、特別活動や生徒会活動を通じて、生徒の自己有用感を醸成し、集団や学校への帰属意識を高めるように努めます。</p> <p>④ 地域行事等の機会を利用した貢献活動（ボランティア活動等）への積極的な参加を推進し、思いやりの心・進んで奉仕する心を養うことで、心豊かな生徒の育成に努めます。</p>	<p>① 各行事に対する生徒アンケートで評価します。（満足度85%以上）</p> <p>② 生徒及び保護者アンケート調査の「学習と部活動の両立」についての項目、LHRの実施状況報告、生徒アンケート（満足度80%以上）、部活動の加入状況及び活動状況、成績等、委員会の活動実績で評価します。</p> <p>③ 生徒及び保護者アンケート調査で評価します。（A・B評価70%以上）</p> <p>④ ボランティア活動への参加者数や生徒の活動報告、生徒及び保護者アンケート調査で評価します。（目標参加者200人、A・B評価60%以上）</p>
<p>5 生徒一人一人の自己管理能力の育成と安全で快適な学習環境の整備</p>	<p>① 個々の生徒が自分の健康に留意して、自分で管理できる能力を育成します。</p> <p>② 安全点検を定期的実施し、安全で快適な学習環境の整備に努めます。</p> <p>③ 自然災害や危機、健康被害等の危機管理体制を徹底し、学校災害等に対して万全な体制で備えます。</p>	<p>① 健康診断・諸検査の意義を理解させ、事後指導の必要数と受診状況で評価します。</p> <p>② 職員と生徒による安全点検から危険個所の把握と、修繕具合から評価します。</p> <p>③ 命を守る訓練や救急救命講習を実施し、防災体制の充実度から評価します。</p>
<p>7 教職員の勤務環境の改革に関する取組の推進</p>	<p>① 「教職員働き方改革プラン2019」に基づき、長時間勤務の解消、ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決、及びマネジメント力向上に向けた組織・体制づくりに重点的に取り組みます。</p> <p>② 日常の職務を振り返るために職員会議や研修会等の機会を活用して、学校法規の内容や趣旨をよく理解し職務の遂行に専念するなどコンプライアンスの意識向上に努めます。また、その徹底のために組織で対応することを心がけるなど学校マネジメントに努めます。</p> <p>③ 教職員のキャリア発達やキャリア形成に着目した職能発達に努めます。また好ましい同僚性の促進のために組織の活性化を図ります。</p>	<p>① 超勤時間削減、早期退勤日徹底、業務内容見直し、部活動休養日実施、外部人材配置、等における指標の達成状況を評価します。またハラスメント等に対しては管理職による個人面談やストレスチェックの徹底及び産業医による指導を評価し速やかな改善を図ります。</p> <p>② 生徒及び保護者アンケート調査結果、人事評価表の自己評価欄の記述及び不祥事防止や情報セキュリティ等各種のチェックシートの回答状況を分析し課題の解決を図ります。</p> <p>③ 校内外の研修機会活用を促し成果物を評価します。研修成果の共有・活用状況についても評価します。</p>